



## 春からは小学校で遊ぼうね

吾妻小学校では2月24日、来年度入学する園児らを招いて交流会が開かれ、吾妻幼稚園から8人、中ノ沢保育所から5人が参加して1年生18人と交流を深めました。

歓迎会、お店やさんごっこなどで園児らを歓迎した後は食育の一環として紙芝居をし、バランス良く野菜を食べることやよく噛んで食べることの大切さを教えました。

給食の時間には子どもたちが大好きなカレーライスが振る舞われ、給食が初めての園児らも「おいしい」と笑顔を見せました。

1年生の小椋千鶴さんは「1年生が入ってきたら漢字を教えてあげたり、一緒に遊んであげたいです」とにっこり。吾妻幼稚園の小椋友恵さんは「小学校に入ったら、歴史の勉強を頑張りたい。給食も楽しみです」と元気に答えました。



写真上 「野菜を食べないと病気になるぞ」園児らは真剣に耳を傾けていました。写真下 みんなで食べるとおいしい。あんまりおしゃべりしちゃいけないけど、今日くらいはいいよね。



## パソコン環境がさらに充実

町ではこのほど生徒、児童の情報教育環境整備と教職員の校務効率化を目指し、町内の小中学校に新しいノート型パソコン(以下PC)を配備しました。

このうち吾妻中学校では、さっそく授業に新型PCが導入されています。

2年生の理科の授業で新型PCを使った二瓶大地さんと中村アイリンさんは「自宅のPCより早くていいですね。家では趣味で使うだけなので、学校で表計算などをしっかり勉強したい」と話しました。

芝田俊久教頭は「今の生徒たちはPCに慣れているので、新しいソフトでもすぐなじめます。最新型のPCになったということで意欲の高まりも期待できると思います。今まで学校にPCがなく、私物で対応していた教員にもPCが配られたことで、セキュリティの強化、情報の一括管理やその利用について効果があると思います」と話しました。



写真上 インターネットで資料を集め、エクセルで集計してグラフを作る作業に取り組む生徒ら。写真下 宇都宮市の気象データを使いグラフを作成する二瓶さんと中村さんのグループ。

# スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



## 通い慣れた学びやお別れ

猪苗代高校の卒業式は3月1日、同校の体育館で執り行われ、普通科、国際観光科合わせて93人が思い出の学びやお別れを後にしました。

新田銀一校長が普通科の伊東美衣子さん、国際観光科の小林美樹さんに卒業証書を授与し「英知、忍耐、勤労の校訓を心にとどめ、胸を張って気高く生きてほしい」と式辞を述べた後、津金町長らが祝辞を述べました。

在校生代表の林文婷さんが「先輩たちが築いたものを受け継いでいく。皆さんのような3年生になりたい」と送辞。卒業生代表の佐藤楓さんが「支えてくれた両親、指導に当たった先生方や親友たちのおかげで、3年間の高校生活の一つ一つが大切な思い出。これからは自分の夢に向かってのスタート。猪高で学んだ精神力と忍耐力で壁を乗り越えていく」と力強く決意を述べました。



写真上 校歌を唄っている最中、楽しかった3年間の思い出が頭をよぎり、涙する生徒も。写真下 卒業生代表の佐藤さん。答辞を読み上げながら涙をこらえる場面もありました。



## 活気あふれる「猪苗代商店街」

猪苗代保育所の児童らは2月24日、恒例の「おみせやさんごっこ」を楽しみました。

お遊戯室内に作られたミニ商店街では、年長児のさくらA組とB組の子どもたち21人が自分の好きなお店を出店。花、お面、たいやき、双眼鏡、メガネ、洋服やおもちゃなどのお店が並びました。

「いらっしゃいませ、いらっしゃいませ」と威勢のいいかけ声が響く中、小さな子どもたちはお目当ての品を求めて歩き回りました。

たいやきのお店を出した渡部悠人くん(A組)と屋部瑞生くん(B組)は「いっぱいお客さんが来てよかった。楽しい」と笑顔を浮かべました。

「エクレアはいかがですか。おいしいですよ」と大きな声で頑張っていた吉田柚月ちゃんは「こんなに売れたんだよ。ほら」とおもちゃのお金をうれしそうに差し出しました。



写真上 おもちゃのお金でも好きな物を買う。子どもたちの目は輝いていました。写真下 おいしいたいやき作りのため、抜群のチームワークを見せた屋部くん(左)と渡部くん(右)